

# お知らせ

## 令和7年度 かかりつけ医等心の健康対応力向上研修実施要領

### 【令和7年度 かかりつけ医等心の健康対応力向上研修の案内】

那覇市医師会 島袋 盛洋

厚生労働省が発表した2024年の1年間の国内の自殺者数は暫定値で2万268人で、2023年比で1,569人減少し、昭和53年の統計開始以降、2番目に少なくなりました。

一方で、児童・生徒の自殺者数は527人にのぼり、これまでで最も多かった令和4年の514人を上回って過去最多となりました。コロナ禍による影響が大きいとされていた子どものこころの安定のために、まだまだ取り組むべきことが数多く残されているように感じます。

本研修会は、日々忙しい臨床現場で、たまに遭遇するような子ども・若者のSOSにどう寄り添っていけばいいのか？この分野の第一人者である加藤 隆弘先生のお話を直接聞くことの出来る貴重な機会になります。12月開催と超多忙な時期になりますが、年末の締めくくりに大変有意義な研修となるものと思います。特に小児科の先生方には奮ってご参加下さい。

#### 1 目的

本県における自殺者数は、平成24年に300人を下回り、減少傾向で経過していたが、令和3年以降増加に転じ、令和6年は240人と未だ深刻な状況が続いている。

医療現場では、精神科に限らず多くの診療科で患者の抑うつや自殺リスク評価が重要となる。本研修では、地域医療に従事する医師等が、メンタルヘルスの問題を有する人に対して適切なリスク評価や初期支援を行えるよう、「メンタルヘルス・ファーストエイド（MHFA）：心の応急処置方法」について学ぶことを目的とし、開催する。

2 主催 県立総合精神保健福祉センター

3 共催 沖縄県医師会

4 場所 沖縄県医師会館ホール（※オンラインとのハイブリッド予定）

5 対象 内科・小児科等一般科かかりつけ医及び精神科、研修医等

6 日時 令和7年12月19日（金）19:00～21:00（18:30受付開始）

#### 7 研修内容

##### ○第1部 行政報告

座長 沖縄県立総合精神保健福祉センター 所長 牧志倫

行政報告 「沖縄県の自殺総合対策について」 沖縄県地域保健課

##### ○第2部 講演

座長 琉球大学大学院医学研究科精神病態医学講座 教授 高江洲 義和 氏

演題 「メンタルヘルスファーストエイドの医療福祉機関での活用について

～こども・若者のこころのSOSに寄り添う～」

講師 北海道大学大学院医学研究院 精神医学教室 主任教授 加藤 隆弘 氏

・日本医師会生涯教育講座 1.5単位 CC:5 心理社会的アプローチ

8 定員 会場参加 100名程度（オンライン接続上限200名程度）

9 参加費 無料

10 申込方法 下記フォームより申込み／期限：令和7年11月27日（木）※定員に達し次第〆切

医師専用フォーム : <https://forms.gle/A6KbTvY922pEKY7Z9>



その他職種用フォーム : <https://forms.gle/FQKksUey6N1Gj4w19>



11 問合せ先 県立総合精神保健福祉センター 相談指導班 町田・新城・松田・國場  
TEL 098-888-1443 FAX 098-888-1710